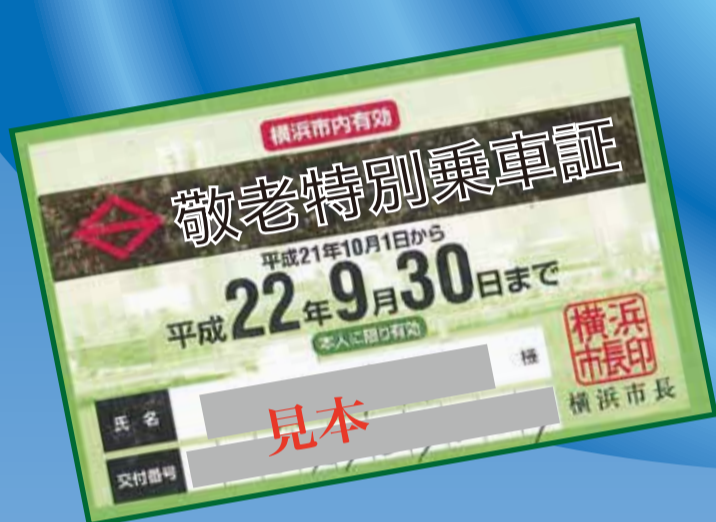


エッ！また？

敬老パス

値上げまたは年齢引き上げを検討



横浜市は、敬老パス（敬老特別乗車証）の見直しを打ち出しました。

財政難を理由に、以下の3案を市議会に提示し、今秋にも条例改訂をと求めています。

しかし、敬老パスは高齢者の通院や外出を支え、地域活性化にも欠かせません。

高齢化により増える市の負担増は、ムダを無くせば補えます。

今の制度を守るよう、署名運動にご協力ください。

現行制度

所得区分	負担額
700万円以上	19,500円
250～700万円未満	8,000円
250万円未満	6,500円
市民税非課税世帯	3,200円
生活保護世帯など	無料

横浜市案 その1

市の負担上限を決め3年ごとに値上げ（表は上限80億円で市が出した試算）

2011年10月	2014年10月	2017年10月
30,000円	30,000円	30,000円
13,500円	17,500円	21,000円
11,500円	14,000円	17,000円
5,900円	7,200円	8,800円
無料	無料	無料

横浜市案 その2

交付対象者を、現行「70才以上」から「75歳以上」へ引き上げ

横浜市案 その3

フリーパスとワンコインの選択制

- ①ワンコイン証（1,000円/年）＋乗車ごとに100円
- ②フリーパス
 - バスまたは地下鉄専用 12,000円/年
 - バス・地下鉄共通 21,600円/年